

* * イ カ ナ ゴ 情 報 No. 3 * *

北海道立中央水産試験場
後志南部地区水産技術普及指導所

調査の概要

2008年4月30日に島牧海域において初漁の水揚げがあり、その漁獲物標本を測定しましたので、結果をお知らせします。関係者の皆様、調査にご協力ありがとうございました。

今回の標本も2群で構成（平均22mm群と27mm群）→ 漁期前調査（4月9日）で確認された群は漁獲対象サイズに加入

上段の図が、今回4月30日に島牧海域において漁獲された標本の体長組成で、中段、下段の図は、それぞれ前報と前々報でお知らせした調査の体長組成です。今回4月30日の漁獲物にも、今年これまでの調査でみられたものと同様に、ふ化時期が異なる2つの群が確認されました。1群目の体長は25～29mm、2群目は20～22mmが主体となっており、これまでのところは、ほぼ平年並みの速さで成長しているようです。また、今回の調査では、後続のふ化群とみられる小さなコウナゴ（体長13～18mm）がみられました。こちらについては、今後どの程度の量が漁獲サイズに加入してくるか、現時点では何ともいえません。今後の漁獲動向を注視したいと思いますので、今後も標本採集などにご協力をよろしくお願いいたします。

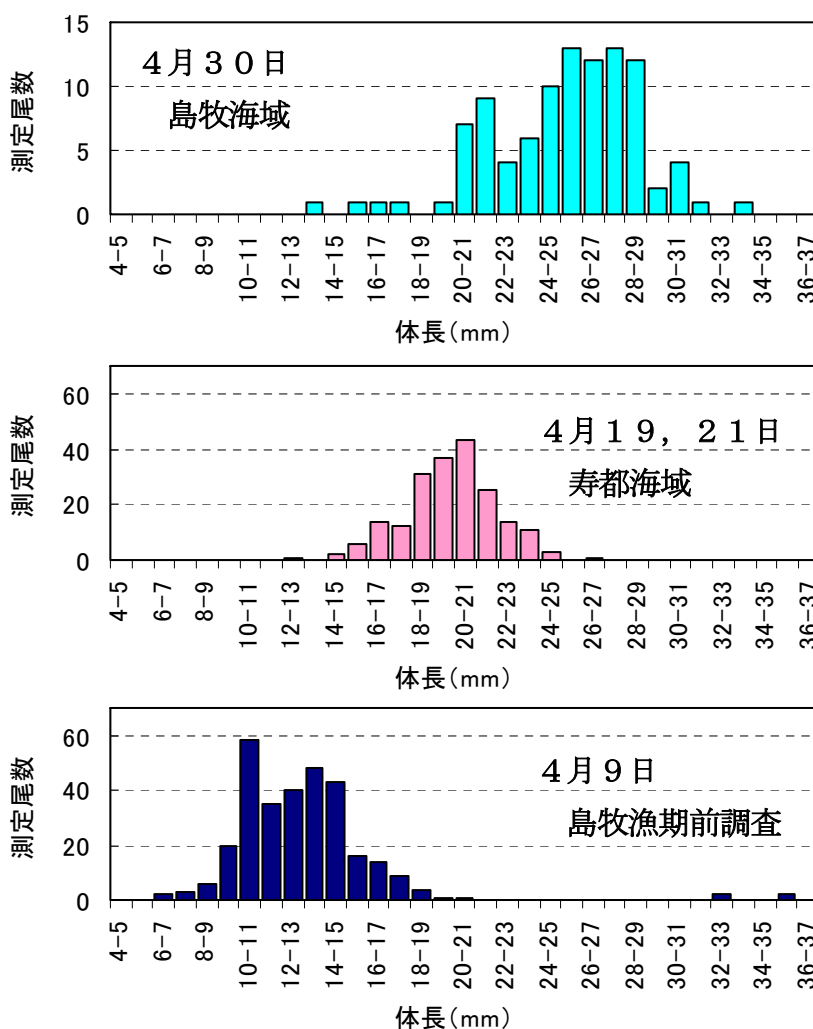


図 コウナゴの体長組成

上段：4/30（島牧） 中段：4/19,21（寿都） 下段：4/9（島牧）